

がんサロンでの病理医の活動

近畿中央病院病理診断科 安原 裕美子

わたしは病理診断科の医者(病理医)です。毎日生検された組織片や手術で切除された臓器を肉眼観察と顕微鏡観察にて『がん』の診断をしています。

ほとんど患者さんの前には出ない地味な仕事です。ですが、現場の臨床医よりも一歩外側にいるからこそ全体像を俯瞰的に見ることができ、病気を理解する科であるからこそよく分かることも多いのです。

それを表面的な結果だけでなく、奥にどういうことが起こっているのか、実際のがん細胞の顔つきはどんな感じなのか、それらを実際に病気になっている人にも、その近くにいる人にも伝えたい。知ってもらいたい。知れば、子供のころの暗がりに大きく出てきた“おぼけ”のように、実は「な～んだ」ってことも多いんじゃないか、と思うのです。

「サロン」での会話から、当然わかっているだろうと思っているところが実はそうではなかったり、逆にこれは難しすぎるから話さない方がいいのでは、と思うところで実はとても渴望されていたり、と医療者の認識との間にギャップがあることがわかりました。そして、氾濫する情報の海の中で、自らの立ち位置がわからず溺れそうになっている方には、その整理をしてお手伝いをさせていただいています。

例えば乳癌の方の場合は、実際に切除された乳腺の写真、顕微鏡写真、ホルモンレセプターやHER2の免疫染色結果などを見ていただくことによって、自分がどのタイプなのか？ どうして隣にいる乳癌の人と治療薬・治療法が異なるのか？ といった患者サイドでは解決できない内容やモヤモヤとした感情の部分が解決できているように思います。

「がん」と診断されて身体の一部を失い、暗い面持ちで訪れた方が、元気な常連さんとの会話の中で、だんだん明るく元気になっていく様は目を見張るものがあり、わたしはその“場”に居合わせる事ができてとても嬉しいです。

がん哲学外来の原点

システム・インテグレーション(株) 多喜 義彦

私の仕事は、企業の新事業や新商品を開発するコンサルタントですが、開発という意味で「がん哲学外来」も同じではないかと思っています。

患者さんはがんになって初めて、残された人生をいかに生きるかという開発を始めます。前向きに考えること、それは開発ということですからそこが同じではないかと考えました。

人間は、少々ケガをしたり病気になっても人生を深く考えることはありません。まして、残りの人生をどう生きるかは考えません。しかし、がんという病気は、誰もが死を意識して、これまでとこれからの人生を深く深く考えるのです。

人生を深く考えることは哲学ですが、普段、考えることのない哲学に触れる、そのきっかけとなるのが、がんという病気です。そして、ではこれからどう生きるか、それが人生の開発ということなのです。

開発とは、「もっと良くしよう、良くなりたい」と、前向きに考えることです。どのくらい生きられるかはわかりませんが、常に向上心をもって、明るい未来を拓くこと、それが開発なのです。

がんになっても、常に向上心をもって残された人生をしっかりと生きること。それががん哲学外来の理念であり、原点ではないでしょうか。

がん哲学外来伊香保シンポジウム

15年前、原田明夫氏(元検事総長・東京女子大学前理事長)と樋野興夫氏(東京女子大学現理事)は新渡戸稲造先生についてのシンポジウムを伊香保温泉にて開催しました。残念にも原田氏はこの4月に逝去されその追悼記念として再び伊香保温泉にてシンポジウムを開催する運びとなりました。是非ご参加下さい。



日時 2017年9月18日(月・祝) 18:30~20:00

場所 伊香保温泉 福一  
群馬県渋川市伊香保町伊香保甲8番地  
Tel 027-920-3000



申込・連絡先：FAX 027-062-9951

(18:35~19:05)



司会 国立病院機構沼田病院 院長 前村 道生

『原田明夫氏追悼記念～今、ふたたび伊香保温泉～』

一般社団法人 がん哲学外来 理事長 / 順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授

樋野 興夫

(19:05~19:55)



テーマ『人生の邂逅～不連続の連続性～』

司会 伊勢崎市民病院 外科診療部長 片山 和久  
群馬大学医学部附属病院 看護部 高山 千春

パネラー 原町赤十字病院 看護部 柳澤 ちくさ  
内村鑑三記念メディカルカフェ・沼田がん哲学外来 青山 千里  
がん哲学外来カフェ in 万座 市村 雅昭  
がん哲学外来 なごみカフェ 木暮 達也  
塚本恵美子

信州大学がん哲学外来 in軽井沢



樋野 興夫 教授  
(順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座)



平成 29 年 9 月 9 日 (土) 10:00~12:00 開場 9:30

定員 15 名 (先着順) 参加費無料

会場：軽井沢病院 2階 会議室  
申込：sca@shinshu-u.ac.jp (医療支援課)